



ハトダヨ
9月号

函館市中央図書館

編集・発行 函館市中央図書館

指定管理者 TRC 函館グループ

TEL 35-5500 FAX 35-5525

①

②

③

市中央図書館だより

第5号 平成28年9月1日 発行

貸出・予約ランキング

図書館でたくさん借りられている本・予約が入っている本は何か、みなさんをご存知でしょうか。ランキングを参考に読みたい本を探すのも一つの方法です。ご予約は図書館の窓口、またはインターネットからどうぞ。予約の仕方わからないことがありましたらいつでも図書館員にご相談ください。

貸出ランキング

平成28年2月1日から平成28年7月31日までの間に貸出回数の多かった本をご案内しています。

一般書

1	火花	又吉 直樹／著	6	竹屋ノ渡	佐伯 泰英／著
2	ホテルローヤル	桜木 紫乃／著	7	虚ろな十字架	東野 圭吾／著
3	64	横山 秀夫／著	8	ペテロの葬列	宮部 みゆき／著
4	旅立ノ朝	佐伯 泰英／著	9	祈りの幕が下りる時	東野 圭吾／著
5	夢幻花	東野 圭吾／著	10	マスカレード・イブ	東野 圭吾／著

児童書

1	バムとケロのおかいもの	島田 ゆか／著	6	かいけつゾロリはなよめとゾロリじょう	原 ゆたか／著
2	かいけつゾロリの だ・だ・だ・だいぼうけん! 前編	原 ゆたか／著	7	かいけつゾロリイシシ・ノシシ大ピンチ!!	原 ゆたか／著
3	きえた!?かいけつゾロリ	原 ゆたか／著	8	かいけつゾロリの だ・だ・だ・だいぼうけん! 後編	原 ゆたか／著
4	かいけつゾロリのクイズ王	原 ゆたか／著	9	かいけつゾロリとまほうのへや	原 ゆたか／著
5	かいけつゾロリとなぞのひこうき	原 ゆたか／著	10	かいけつゾロリのようなかいどうんどうかい	原 ゆたか／著

予約ランキング

平成28年8月1日現在、予約回数の多かった本をご案内しています。

1	羊と鋼の森	宮下 奈都／著	6	海に見える理髪店	荻原 浩／著
2	希望荘	宮部 みゆき／著	7	コーヒーが冷めないうちに	川口 俊和／著
3	天才	石原 慎太郎／著	8	カエルの楽園	百田 尚樹／著
4	ボイスドーター・ホーリーマザー	湊 かなえ／著	9	擬宝珠のある橋	宇江佐 真理／著
5	向田理髪店	奥田 英朗／著	10	硝子の太陽 Rouge	誉田 哲也／著

イベント告知

平成28年度 第5回 郷土の歴史講座 「北海道の開拓功労者～松前の豪商村山伝兵衛」9/17(土)

箱館戦争における旧幕府軍の資金は、松前の商人村山家から出ていたことはあまり知られていません。

北海道開拓の先覚者として、知られざる歴史の一場面を築いてきた村山家を、石狩市郷土研究会会長で村山家の10代目でもある村山耀一氏に紹介していただきます。

平成28年度 第6回 郷土の歴史講座 「高松凌雲と箱館」10/15(土)

近代国家幕開けのきっかけとなった箱館戦争において、敵味方の隔てなく治療に専念した一人の医師、高松凌雲にスポットをあてて、日本の赤十字運動の先駆けとなったその理念や波乱万丈の人生に迫ります。

講師：櫻井健治氏(日本近代文学会会員)

詳しくはチラシ・ポスターをご覧ください

ハトダヨにしか
載っていない！

ぜひ読んでみてください！

スタッフのおすすめ本

棚：児童 20～22
請求記号：911 ミヤ

タイトル：「永訣の朝」

著者：宮沢 賢治 出版社：岩崎書店（2000 年 4 月）

先日、親子ふれあいコーナーで「雨ニモマケズ」の暗唱をしている低学年の子供さんを見かけました。凜とした声音と言葉の潔さ。この詩はこの子の一生の宝になるだろうと感心しつつ、最後まで拝聴しました。久しく忘れていた「志」という言葉が胸に蘇りました。他にも私はいろいろ忘れ果てて暮らしていたようなのです。懐かしい詩歌は折にふれ、行く道のどこかで私たちが待っているのかも知れません。

ご紹介するのは宮沢賢治の詩集です。岩崎書店から出ている「美しい日本の詩歌」というシリーズの中の一冊で、「春と修羅」「無声慟哭」「イーハトーブ」等の中から数編ずつ、選抜され納められています。編者は児童文学の北川幸比古氏。膨大な詩作品の中から切り取られ、詩人の真髓を掬い取る、銀色の装丁の一冊です。ひんやりとした言葉の結晶にふれ覚醒したい方に、おすすめです。

棚：A25～30
請求記号：F 仝

タイトル：「年下の男の子」

著者：五十嵐 貴久 出版社：講談社実業之日本社（2008 年 5 月）

懐かしい昭和のアイドル・グループの曲名を彷彿とさせるタイトル。サスペンス・ミステリー小説でお馴染みの五十嵐貴久によるラブ・ストーリィです。

マンションを購入したばかり、乳製品会社課長補佐・37歳の晶子さんと、PR会社契約社員・23歳の児島君。二人の恋がユーモアを交えたコメディタッチで描かれています。

14歳の年の差（女性が上）、社会的立場・収入の差（女性が上）。加えて、晶子さんには社内にも長く憧れている上司がいます。“年下の男の子”との恋による戸惑いと迷い、そして決断。晶子さんが気付いた「幸せ」とは何なのでしょう。

さて、このお話し、続編があります（「年下」シリーズ全3作）。二人は果たしてどんなゴールを迎えるのでしょうか。続きは図書館で！

棚：A10～13
請求記号：490.14 ヒノ

タイトル：「明日この世を去るとしても、

今日の花に水をあげなさい」

著者：樋野興夫 出版社：幻冬舎（2015 年 8 月）

著者は医師であり、患者と対等の立場でがんについて語り合う場として「がん哲学外来」を開設された方です。そこでは薬や治療の代わりに「言葉の処方箋」が出されるそうです。そんな「言葉の処方箋」がたくさん詰まったこの本は、読むと心が本来の力を取り戻せるような一冊です。

その中でこうしてハトダヨを読んでくださっている皆様を紹介したい言葉を見つけました。

『必ずしもよい師やよい友が得られるとは限らない。だがよい読書は誰にでもできる。』
この一冊もよい読書となると思いますので、ぜひ読んでみて下さい。

館長随想（五）



九月十七日、石狩から村山耀一氏をお招きして郷土の歴史講座を開催します。村山さんって誰と思われるでしょう。実はこの方、松前の豪商村山家の末裔で、店を起こした初代村山伝兵衛から十代目にあたります。

初代村山伝兵衛は、能登の国安部屋村、現在の石川県志賀町出身で、元禄十三年蝦夷地に渡り、松前で廻船問屋阿部屋を創業します。店印は丸の中に十五を書き入れたものですが、いつか船を十五隻まで増やしたいという思いからだったといわれます。当時の蝦夷地では、松前藩が、各地の港を商人に場所請負人として任せ、港での漁の収益の一部を藩に納めさせていました。村山伝兵衛は石狩場所を請け負い、鮭漁で成功します。廻船問屋も順調で、請け負う場所も増え、商売を拡張していきました。三代目伝兵衛の頃には、その勢いは最も盛んになり、江戸の豪商たちと並べても番付上位に入るといわれるほどでした。

しかしあまりの隆盛ぶりは反感も生みます。虚偽を交えての訴えを松前藩は受入れ、村山家の財産を没収します。この理不尽なことは幕府の耳に入り、伝兵衛は幕府に取り立てられ復権します。

時代は動乱の幕末に向かい、箱館戦争では、榎本軍に軍資金の出資を要求され応じます。榎本軍の敗北で、村山家は立ち直れない打撃を受けます。

北海道史の側面に大きな役割を果たした村山家。道南で育った十代目耀一さんが、その歴史を図書館で語ってくれます。

デジタル資料館 紹介



末広町を行進する花自動車隊 [第一回港まつり] (pc000259-005)

今回ご紹介するのは第一回港まつりの絵葉書です。この前年に函館は大火に見舞われ、その復興への意気込みをかけて催されました。絵葉書は8枚セットで、全てデジタル資料館でご覧いただけます。



今回は、読み聞かせのボランティアグループ「たんぽぽ」の代表・村國優子さんにお話を伺いました。

●読み聞かせを始めたきっかけは？

昭和56年4月に函館商業高校の生徒が、「地域の子供たちのために」と始めました。その生徒が卒業する時に一番初めの代表が引き継いで現在まで続いています。

●メンバーと活動内容について教えてください。

7人で活動しています。参加して10年以上のベテランばかりです。老人ホームや美原保育園などでも読み聞かせを行っていて、美原図書室での活動は、35年になります。

●活動で工夫していることは何ですか？

季節を感じる行事の絵本を一冊入れるようにしています。又、赤ちゃんから小学校低学年の子供が多いので、手遊びや、童謡を入れたり、年齢にあった絵本を読んであげたいので、当日きてくれた子どもたちを見て、読む本を変更したりすることもあります。

●たんぽぽさんからのメッセージ

一冊の絵本の中にはすべての世界が入っていると思います。とにかく子どもたちに絵本の世界を知ってもらいたい、絵本を好きになってほしいという思いで行っています。ぜひ、遊びに来てください。絵本を通して楽しい時間を一緒に過ごしましょう。

美原図書室での、たんぽぽさんの読み聞かせは、主に第1、第3、第4の土曜日に行っています。（都合により開催しない日もありますので、確認をお願い致します。）ぜひ、聞きにいらしてください。



9月の美原図書室の読み聞かせは

9月 3日（土）
9月 17日（土）
9月 24日（土）
午後2時～2時30分まで
亀田福祉センター 1階和室
参加お待ちしております！



たんぽぽさんに聞きました！ 秋のおすすめ絵本BEST

No.1

『ぽんぽん山の月』

あまんきみこ／文 渡辺洋二／絵

No.2

『お月さまってどんなあじ?』

ミヒヤエル・グレイニェク／絵と文

No.3

『さつまのおいも』

中川 ひろたか／文 村上 康成／絵

読んでみたい方は図書館スタッフにおたずね下さい！



美原図書室からのお知らせ



美原図書室では、毎月本の特集をしています。9月の特集はこちら。

『有名人が書いた本特集』 ～9月29日（木）まで

本業が『文筆業』ではない有名人の方々が書いた本を集めました。
バリエーション豊富な新たな才能にご注目！

『秋のえほん』 ～10月27日（木）まで

秋は実りがいっぱい季節。お月見、ハロウィンなど楽しい行事もたくさん。秋のおいしいもの、楽しいこと、絵本でみつけてみませんか？

美原図書室は亀田支所に隣接する
亀田福祉センター内1Fにあります。

開館時間：10時～17時

休館日：毎週月曜日、祝日、年末年始

毎月最終金曜日、特別図書整理期間

ブックポスト利用可能時間：閉館時間

すべて（ブックポストは亀田福祉センター正面入口横にあります。）

